

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35 (1 3)	○災害対策 年2回の消防署員の立会の下で避難訓練を実施。さらに、スタッフ全員に避難手順の習熟のための機会をとらえてミニ避難訓練も実施中。 実施したミニ避難訓練の記録が貧弱であったり、記録もれが散見される。	避難手順に習熟するため、定期の年2回の避難訓練にくわえて、ミニ避難訓練を繰り返し実施し、いつ災害が発生しても、あわてることなく避難できるようにしておく。 あわせて、避難訓練を実施した場合はそのすべてを記録に残す。	・定期の訓練は従来と同様に報告書を作成 ・随時行うその他の訓練やミニ避難訓練については ケア日誌に記録する。 記録内容は、当日の実施時間・参加利用者と参加介護スタッフの全員の氏名とす。 (介護車両を使用した場合は車種名)	即日
2	36 (1 4)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 トイレや入浴時の異性介助について介護スタッフが全員女性であり、男性のトイレや入浴支援時に異性介助となることについての同意を得ていない。	異性介助を問題なく受け入れている利用者や、新規入居者でトイレや入浴の自立して利用者は除き、異性介助で支援に入るときは本人に声をかけて同意を得る。	トイレや入浴の自立していない、異性の新規入居者から、異性介助の同意を得られるよう声かけをしてから支援に入るようにする。	即日
3	40 (1 5)	○食事を楽しむことのできる支援 おやつタイム(10時、3時)には、日替わりで数種類の飲み物を提供している。 しかしながら、その日の飲み物は介護スタッフ選び提供している。	常時数種類の飲み物が提供できるように準備してあるので、その日に飲みたいものを利用者を選択してもらうようにする。	定期的に さるびあカフェ を開催する。 カフェのメニューカードを作成し、利用者に提示し、好きなものを注文してらう。 カフェを開催したら、当面の間 ケア日誌に記録するようにし、定着を図る。	即日
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。